

第4回 防府市人権学習市民セミナー

日時：令和6年12月6日（金）

午後2時から午後3時30分まで

場所：防府市創業・交流センター 多目的ホール

【罪や非行を犯した人の問題】

演題：リクエストから見える受刑者たち

講師：フリーアナウンサー

佐藤 忠典 さん

犯罪を犯した人の気持ち、社会復帰に対する不安な気持ち、今まで自分事とは思わず考えもしなかったことを考えるよい時間でした。（参加者アンケートより）

市民セミナー講師佐藤さんのお話より

1 生きづらさを感じる社会

「犯罪者」と聞くとどんなことを思い浮かべますか？「受刑者」と聞くとどんなことを思い浮かべますか？刑務所へいく人の全ての人が完全に悪い人ではありません。有期刑であれば、受刑者は服役後に社会にもどってきます。この中に元受刑者はいますか？と言われたら手を挙げることができるでしょうか。元受刑者は服役後、社会復帰をしても生きづらさを抱えている人が多いと思います。①なぜ犯罪が起きたのか。犯罪が起きた社会と私たちが今いる社会は同じです。②社会復帰後の更生のために何が必要か。この2つのことは私たちがちゃんと考えなくてはいけないことだと思います。



市民セミナー講師佐藤さんのお話より

2 リクエストから見える受刑者たち

犯罪は、被害者やその家族の救済が何よりも大切です。しかし、加害者一人を罰することで、解決されるものなのではないでしょうか？その人のおかれた環境、地域、社会など、原因は多岐にわたるのではないのでしょうか。受刑者を知るにつれ、もし自分が同じ境遇だったら、果たして犯罪を犯さずにいられたらと思うことが少なくありません。受刑者は刑期を終えると社会で生き続けなければなりません。仮に他人や社会から、差別されたり排除されたりしてもです。多様性の時代となり、刑務所もここ数年で個々を重視し、人権へ配慮した処遇へと大きく変わりました。どうやって彼らと共存していくのか、少しでもいいので彼らのことを理解しようという思いをもってほしいと思います。



市民セミナー参加者アンケートより

- ・出所された方の支援をしています。講演の通り、偏見・差別を受ける方が多いと感じます。色々な方との向き合い方、自分と違う環境で育った方への理解。難しいこととは思いますが、これからも取り組んでいこうと思いました。
- ・生きづらさは多くの場所にあります。罪をおかす前にもっと会話が出来る場所、人に寄り添えることが大切と思います。
- ・頭の中では理解していても……。今回の話は考え直す機会としてとてもよかったと思います。

《感謝の言葉の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》